



平成26年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年8月12日

上場会社名 株式会社ニッパンレンタル 上場取引所 東
 コード番号 4669 URL <http://www.nippan-r.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石塚 春彦
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営管理部長兼 (氏名) 町田 典久 (TEL) 027(243)7711
 総務部長
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第2四半期の業績(平成26年1月1日～平成26年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	2,943	15.2	223	66.5	171	100.2	80	169.7
25年12月期第2四半期	2,555	6.8	134	△32.0	85	△42.3	29	△63.4
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
26年12月期第2四半期	10.60		—					
25年12月期第2四半期	3.93		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第2四半期	9,874	1,630	16.5
25年12月期	9,336	1,597	17.1

(参考) 自己資本 26年12月期第2四半期 1,630百万円 25年12月期 1,597百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	6.00	6.00
26年12月期	—	0.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,300	12.1	500	14.7	400	20.7	200	27.5	26.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

26年12月期 2 Q	7,602,520株	25年12月期	7,602,520株
-------------	------------	---------	------------

② 期末自己株式数

26年12月期 2 Q	32,363株	25年12月期	31,417株
-------------	---------	---------	---------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

26年12月期 2 Q	7,570,719株	25年12月期 2 Q	7,573,636株
-------------	------------	-------------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

前頁の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げに伴う需要の反動があったものの、政府による経済政策や金融政策などを背景にした企業収益の改善が見られるなど、ゆるやかな回復基調で推移いたしました。

当社の主たる需要先である建設業界を取り巻く環境は、公共投資が堅調に推移する一方で、人材不足による労務費の上昇や資材価格の高止まりなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような環境の中、当社は、強みである老朽化インフラなどの点検向け車両や道路機械などを増強することで営業力を強化してまいりました。また、中期経営計画で掲げた営業店舗の大型化やサービス工場の充実による修繕の内製化などを促進することで、より効率の高い経営を目指してまいりました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高につきましては、レンタル収入が増加したことなどから、29億43百万円（前年同期比15.2%増）となりました。

利益面につきましては、営業利益は2億23百万円（前年同期比66.5%増）、経常利益は1億71百万円（前年同期比100.2%増）四半期純利益は80百万円（前年同期比169.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

1. 資産・負債・純資産の変動状況

(流動資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産の残高は、前事業年度末と比べて90百万円減少し、24億53百万円となりました。主な要因といたしましては、現金及び預金が12百万円、繰延税金資産が23百万円それぞれ増加、受取手形が67百万円、売掛金が65百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

(固定資産)

当第2四半期会計期間末における固定資産の残高は、前事業年度末と比べて6億28百万円増加し、74億21百万円となりました。主な要因といたしましては、貸貸資産が4億78百万円、社用資産が1億87百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

(流動負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債の残高は、前事業年度末と比べて90百万円減少し、32億54百万円となりました。主な要因といたしましては、未払金が51百万円増加、支払手形が20百万円、短期借入金が1億63百万円、未払法人税等が18百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

(固定負債)

当第2四半期会計期間末における固定負債の残高は、前事業年度末と比べて5億95百万円増加し、49億89百万円となりました。主な要因といたしましては、長期借入金が7億40百万円増加、社債が74百万円、長期未払金が67百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産の残高は、前事業年度末と比べて32百万円増加し、16億30百万円となりました。主な要因といたしましては、利益剰余金が34百万円増加したことなどによるものであります。

2. キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末と比べて45百万円減少し、7億68百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、9億27百万円（前年同期は6億80百万円の獲得）となりました。これは主に税引前四半期純利益1億41百万円に資金の増加要因である減価償却費6億68百万円、売上債権の減少額1億32百万円と資金の減少要因である仕入債務の減少額29百万円などを反映したものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、10億75百万円（前年同期は5億60百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出10億30百万円と定期預金等の純減額43百万円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は、1億2百万円（前年同期は2億59百万円の獲得）となりました。
これは主に、借入金の純増額5億77百万円、社債の償還による支出74百万円、割賦債務の支払額3億55百万円などによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年2月18日付「平成25年12月期決算短信〔日本基準〕（非連結）」にて公表いたしました通期の業績予想についての変更はありません。

なお、今後、業績予想の見直しが必要と判断された場合には、すみやかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,248,157	1,260,680
受取手形	384,113	316,837
売掛金	847,696	782,462
商品	7,708	11,142
貯蔵品	6,330	6,962
繰延税金資産	30,260	54,066
その他	29,654	26,088
貸倒引当金	△9,500	△4,800
流動資産合計	2,544,422	2,453,440
固定資産		
有形固定資産		
貸貸資産		
機械及び装置(純額)	2,711,837	3,007,731
車両運搬具(純額)	1,429,666	1,594,402
その他の貸貸資産(純額)	114,318	132,299
貸貸資産合計	4,255,823	4,734,433
社用資産		
建物(純額)	420,665	429,563
土地	1,692,496	1,857,479
その他の社用資産(純額)	217,762	230,972
社用資産合計	2,330,924	2,518,015
有形固定資産合計	6,586,747	7,252,449
無形固定資産		
繰延税金資産	12,281	11,986
その他	185,086	152,707
貸倒引当金	△40,985	△40,415
投資その他の資産合計	156,382	124,278
固定資産合計	6,792,470	7,421,138
資産合計	9,336,892	9,874,579

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	539,203	518,858
買掛金	211,417	202,650
短期借入金	1,262,305	1,098,946
1年内償還予定の社債	348,000	348,000
未払金	718,848	770,029
未払法人税等	106,935	88,102
賞与引当金	33,703	35,966
その他	124,633	192,076
流動負債合計	3,345,046	3,254,631
固定負債		
社債	454,000	380,000
長期借入金	2,583,796	3,324,518
長期未払金	1,305,423	1,237,507
資産除去債務	50,902	47,324
その他	181	90
固定負債合計	4,394,304	4,989,441
負債合計	7,739,351	8,244,072
純資産の部		
株主資本		
資本金	721,419	721,419
資本剰余金	193,878	193,878
利益剰余金	664,594	699,444
自己株式	△4,494	△4,700
株主資本合計	1,575,397	1,610,041
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	22,143	20,465
評価・換算差額等合計	22,143	20,465
純資産合計	1,597,541	1,630,506
負債純資産合計	9,336,892	9,874,579

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
売上高	2,555,737	2,943,760
売上原価	1,768,264	1,978,548
売上総利益	787,472	965,212
販売費及び一般管理費	652,924	741,229
営業利益	134,548	223,982
営業外収益		
受取利息	169	318
受取配当金	800	891
損害保険受取額	15,886	5,715
受取賃貸料	1,800	1,811
貸倒引当金戻入額	—	5,269
その他	3,336	2,813
営業外収益合計	21,993	16,819
営業外費用		
支払利息	63,125	65,752
事故復旧損失	2,730	2,001
その他	5,087	1,681
営業外費用合計	70,944	69,434
経常利益	85,598	171,366
特別利益		
固定資産売却益	—	365
特別利益合計	—	365
特別損失		
固定資産除却損	11,659	2,358
減損損失	8,885	—
事業所閉鎖損	—	27,590
特別損失合計	20,544	29,948
税引前四半期純利益	65,054	141,783
法人税等	35,289	61,507
四半期純利益	29,764	80,276

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	65,054	141,783
減価償却費	560,708	668,918
減損損失	8,885	—
長期前払費用償却額	149	159
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4,504	△5,269
賞与引当金の増減額(△は減少)	4,783	2,263
受取利息及び受取配当金	△970	△1,209
支払利息	63,125	65,752
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△365
有形固定資産除却損	11,659	2,358
事業所閉鎖損	—	27,590
売上債権の増減額(△は増加)	107,559	132,510
たな卸資産の増減額(△は増加)	562	△4,065
仕入債務の増減額(△は減少)	△79,796	△29,110
未払消費税等の増減額(△は減少)	△876	14,593
その他	65,330	79,895
小計	801,668	1,095,804
利息及び配当金の受取額	988	1,222
利息の支払額	△63,939	△66,716
法人税等の支払額	△57,735	△102,746
営業活動によるキャッシュ・フロー	680,982	927,563
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△494,576	△1,030,822
有形固定資産の売却による収入	—	2,983
無形固定資産の取得による支出	△6,678	△140
投資有価証券の取得による支出	△1,139	△1,080
貸付けによる支出	△740	△2,990
貸付金の回収による収入	1,290	1,109
差入保証金の差入による支出	△5,143	△2,303
差入保証金の回収による収入	2,837	1,048
定期預金等の預入による支出	△294,159	△360,742
定期預金等の満期等による収入	237,443	317,404
その他	571	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△560,293	△1,075,531
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	△109,998	△200,000
長期借入れによる収入	1,300,000	1,500,000
長期借入金の返済による支出	△480,409	△722,637
社債の償還による支出	△74,000	△74,000
自己株式の取得による支出	△122	△205
配当金の支払額	△44,785	△45,506
割賦債務の支払額	△330,688	△355,497
財務活動によるキャッシュ・フロー	259,996	102,153
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	380,685	△45,813
現金及び現金同等物の期首残高	851,518	814,703
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,232,204	768,889

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。